

はびきの市民大学だより

令和2年度 単位認定講座

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を描いた文学・舞台作品鑑賞

9月19日より開講する「世界遺産『百舌鳥・古市古墳群』を描いた文学・舞台作品鑑賞」講座に登壇いただく、作家・文芸ソムリエ土居豊先生に講義についてコメントをいただいています。



作家・文芸ソムリエ
土居豊

～土居先生からのコメント～

この講座【世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を描いた文学・舞台作品鑑賞】では、百舌鳥・古市古墳群にゆかりの深い文学や舞台芸術、漫画などを鑑賞し歴史文化に親しむことを目的とします。

百舌鳥・古市古墳群についてまずは古事記・日本書紀を元に概要をつかみ、三種の神器の1つ草薙の剣（ヤマトタケルの剣）の系譜をたどりま

す。ヤマトタケルの墓として知られる前の山古墳（白鳥陵）にゆかりの作品を鑑賞します。古事記によると、ヤマトタケルは「やまとはくにのまほろば」と辞世の句を歌い、白鳥となって飛び立ったと語られています。

＜プロフィール＞1967年、大阪生まれ。
『村上春樹を歩く』で関西文学選奨奨励賞受賞。
『いま、村上春樹を読むこと』（関西学院大学出版会）等。新作短編『名探偵ブロックンとお城のおぼけ』（「キッチン」ワイズ出版創刊二号に掲載）

誉田御廟山古墳（応神天皇陵）について、応神天皇ゆかりの物語を鑑賞し、その墳墓と伝わる古市古墳群最大の方後円墳に親しみます。

司馬遼太郎『街道をゆく』で描かれた竹内街道の逸話を読み、歴史の変遷を学びます。日本書紀に記されているこの道はシルクロード最終行程。大陸や朝鮮半島文化がもたらされ、聖徳太子信仰、大峰・高野・熊野・伊勢参詣、西国三十三カ所巡礼の道でもあります。

土曜日 10時30分～12時00分

1	9/19	百舌鳥・古市古墳群	作家・文芸ソムリエ 土居豊
2	9/26	白鳥陵古墳	
3	10/3	誉田御廟山古墳（応神天皇陵）その1	
4	10/10	誉田御廟山古墳（応神天皇陵）その2	
5	11/7	現地講義：古市古墳群巡り	
6	11/14	大山古墳（仁徳天皇陵）から竹内街道へ	

【場 所】LIC はびきの3階視聴覚室

【定 員】50人※先着順

【申込方法】①来館 ②電話 ③FAX

【支払方法】来館または現金書留（電話・FAXの場合。申込に来館された場合、お支払いは同時に行っていただきます。）
※事務局が案内する期日内に、受講料をお支払いください。一旦納付された受講料は返金できません。

【そ の 他】受講時は、マスクを必ず着用してください。

【受 講 料】6講義 3,000円

【申込期限】9月5日（土）※定員に達し次第締切。

学 長 コ ラ ム 【第11回】

今回は、11月28日から始まる学長企画講座「異国の文化との歴史的な邂逅（であい）-関西文化と感性のかたちをめぐって」について書いていただきました！



河内厚郎
（はびきの市民大学学長）

関西は単なる「日本文化のふるさと」ではない。古代から渡来人が行き交う国際的な土壌をもっていた。異国の文化は風土に同化し、やがてはエキゾチシズムではない固有の感性となり、独自の文化を形成してきた。

秋から始まる学長企画講座では、小泉八雲（1850～1904）の曾孫の小泉凡氏をお招きして、八雲が見た明治の日本を語っていただく。アイルランドとギリシアの血をひくラフカディオ・ハーン（小泉八雲）は、いわば欧州の辺境から出てきた人で、ケルト文化というキリスト教以前のアニミズム（精霊信仰）を引きずっていたのではなからうか。そうしたハーンの血が日本への親しみとなって表れたとも考えられる。そのあたりを桑島秀樹氏に講義していただく。

近代西洋音楽の受容については、大阪に生まれ、指揮者・作曲家として華々しく活躍するも28歳で早逝した、貴志康一（1909～1937）を佐谷記世プロデューサーがとりあげる。



そんな貴志が育った京阪神のモダニズム建築を学び、実地に探訪する。それらは東京にはない、独特の個性を持っていた。講師はおなじみの三宅正弘氏。

また日本人は早くから翻訳物を好み、欧米の作家の手法を移植していった。ミステリー文学にしても模倣から出発しながら、いつしか独自のクオリティーをもった作品に仕上げていく。そんなプロセスを、著名なミステリー作家の有栖川有栖氏に語ってもらう。

関西、日本の多様性にあなたも改めて興味を惹かれることだろう。

異国の文化との歴史的な邂逅（であい）-関西文化と感性のかたちをめぐって

土曜日 10時30分～12時00分

学長企画講座

1	11/28	東洋と西洋の美学が交差するとき-近代関西の音楽の華、貴志康一を中心に	キュレーター・音楽プロデューサー 佐谷記世
2	12/12	京阪神のモダニズム住宅地 -羽曳野モダニズム	武庫川女子大学生活環境学科 准教授 三宅正弘
3	12/19	現地講義：京阪神のモダニズム建築を訪ねる	
4	12/26	極西と極東の感性のかたち-司馬遼太郎の「愛 <small>アイルランド</small> 蘭土」と「倭」への旅	広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 桑島秀樹
5	1/9	対談：日本のミステリーが海外に「逆輸出」されるとき	ミステリー作家 有栖川有栖 はびきの市民大学 学長 河内厚郎
6	1/16	オープン・マインドでみた文化と風土-小泉八雲がみた明治日本	島根県立大学短期大学部 名誉教授・ 小泉八雲曾孫 小泉凡

はびきの市民大学では、秋以降に開講する単位認定講座10講座（表面記載の「世界遺産『百舌鳥・古市古墳群』を描いた文学・舞台作品鑑賞」講座を除く）の申込受付を8月5日（水）より開始します。先着順ではありません。9月18日（金）必着です。定員を超えた場合は、羽曳野市内在住者優先で抽選を行います。募集講座の詳細、申込方法・支払方法などについては、募集要項またはホームページでご確認ください。

はびきの市民大学

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里1丁目1番1号(LIC はびきの内)
【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

受付 9時00分～17時30分（2階学習情報室 9時30分～16時30分）※閉室は祝日・振替休日・年末年始
ご提出いただきました個人情報につきましては、羽曳野市個人情報保護条例（平成12年羽曳野市条例第43号）に基づき適切に管理いたします。
※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
※表記されている内容については予告なく変更になる場合がございます。

はびきの市民大学

検索

